

ご長寿おめでとうございます ～全町敬老会～



写真前列左端から敬老祝金代表の村山日出雄さん、喜寿代表の藤川哲さん。他10名が健康老人顕彰者で、前列左3人目から遠藤三夫さん、小笠原實さん、小杉昭雄さん、島谷勇さん、後列左から鈴木憲二さん、多田正勝さん、干場千代作さん、秋山智恵子さん、神馬静子さん、竹内てるよさん。

町内の75歳以上の方が健やかにご長寿を迎えられたことをお祝いする「全町敬老会」が9月6日（金）に開催されました。会場の町総合体育館には約400名の方が出席されました。

全町敬老会では、傘寿（80歳）、米寿（88歳）、白寿（99歳）を迎えた方に敬老祝金が贈呈され、喜寿（77歳）を迎えた方には記念写真が贈呈されました。また、80歳以上で通院が少なく、健康に活動している方を対象として、俱知安町健康老人顕彰状が10名の方に贈呈されました。

そのほかボランティアによる詩吟、民謡などのアトラクションも行われ、出席された方々は楽しいひとときを過ごされました。

町内には、全町敬老会の対象になる75歳以上の方が1,792名いらっしゃいます。対象年齢が70歳から75歳以上に引き上げられた2001年以降では、最も多い人数となっています。町内の最長寿者は男性で102歳、女性で105歳。100歳以上の方は10名いらっしゃいます。

長年に渡って俱知安町のために力を尽くしてこられた方々に敬意を表すとともに、これからもご長寿の皆様が、日々健康に暮らせるようなまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

ご長寿の皆さん、これからも健康で楽しく毎日を過ごされることを願っています。



北海道原子力防災訓練を実施します

平成25年10月8日（火）の8時30分～16時の日程で、北海道原子力防災訓練を実施します。

- ◇ 町民の皆さんが行う訓練項目
 - ① 原子力に関する災害情報聴取訓練
 - ② エリアメール受信訓練（携帯電話）
 - ③ 屋内退避訓練

◇ 訓練の詳細については、町広報紙の今月号に折込みしましたので、お読みください。

「原子力災害発生時の避難方法」についてアンケート調査を行います

◇ 原子力災害発生時における町外（登別市など）への避難方法について、町内会を通じて調査いたしますのでご協力をお願いいたします。

次の3つのパターンからご自身が想定する「避難方法」を選んでいただく調査です。

- ① 自家用車で避難するパターン
- ② 知人・親類等の自家用車に同乗し、避難するパターン
- ③ 行政側で用意する避難用バスにより避難するパターン

お問い合わせ先 町総務部総務課（防災担当） ☎ 0136-56-8000

平成25年10月18日から最低賃金は**734**円になります。

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用されます。

NEWSにゆきす
あらかると

「町内ニュースをお知らせします」

自分だけのマグカップづくり わくわくキッズ 2013

8月31日（土）に、俱知安青年会議所主催の青少年育成事業として、「わくわくキッズ 2013」が行われました。町内の小学生15名が集まり、自然散策や陶芸体験などをして、楽しい時間を過ごしました。

午前に行われた自然散策では、百年の森を舞台に草花や昆虫を見て回りました。百年の森管理人の宮崎さんに木の種類を教えてもらったり、お気に入りの草花を写真に収めたりしていました。

午後は場所を移して、陶芸家の林さんに教えてもらいながら、陶芸体験をしました。ほとんどの子が陶芸は初めてで、林さんの説明を聞いている時には若干緊張の色が見られました。

この日に制作したのはマグカップ。粘土を捏ねるところから始まり、ローラーで薄く引き伸ばし、マグカップの形を作るまで全て自分の手でいきました。形を整えた後には桜や星などの様々な模様を自由に付けていき、徐々に「世界で一つだけのマグカップ」が出来上がっていきました。模様付けは力加減が難しく、苦戦している子もいました。それでも、一



▲林さんの説明を聞く子どもたち。

番楽しかったのはこの模様付けという子が多くいました。

マグカップは林さんの方で焼いてくれて、完成したものが後日子どもたちの手に渡ります。「早く作ったカップを使ってみたい」と話してくれた子の顔には、自分の手で作り上げたという達成感と、ものづくりの楽しさを堪能した満足感が溢れていました。

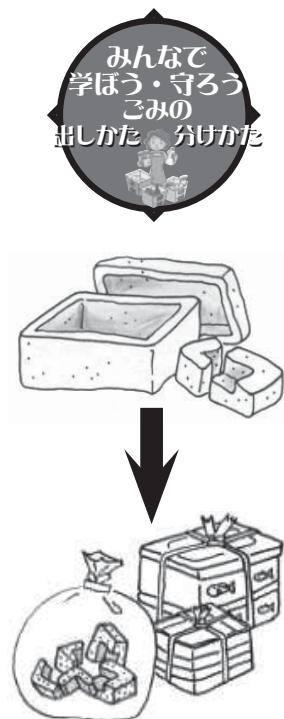


▲段々と形になっていくマグカップ。
子どもたちも真剣です。



▲自分だけのマグカップ。
完成が待ち遠しいですね。

◆資源ごみ 1 発泡スチロールの出し方◆



●魚箱・果物箱・その他の発泡スチロール箱

汚れを落として、複数の場合は紐で縛ってから、出して下さい。

●小さい発泡スチロール（「家電製品」や「壊れやすい商品」の箱の四隅などに入っている発泡スチロール）

透明又は半透明の袋に入れて、出して下さい。プラや他のものは一緒に入れないで下さい。

※断熱材（スタイロホームなど）は、発泡スチロールではありませんので、もやせないごみに出して下さい。

お問い合わせ先

清掃センター

☎ 22-5355

環境対策課

☎ 56-8008

第 65 回北海道消防大会開催

8月23日（金）、町総合体育館において第65回北海道消防大会が開催されました。道内の207消防団、66消防本部などから2200人を超える人が集まりました。高橋北海道知事や福島俱知安町長のほか、多くの方々が来賓として出席する中で執り行われました。

大会では、日頃から消防活動に勤しみ、防災体制の強化に尽力している消防団や防火団体、功労者に対して、表彰が行われました。表彰後、消防団活動事例発表が行われ、俱知安消防団からは災害時の外国人対応についての発表が行われ、消防業務に携わる人々の日々の努力を垣間見ることができました。

会場の外では、羊蹄山麓7カ町村の特産品の販売や、消防に関する装備の展示、防災グッズの販売が行われ、消防関係者の注目を集めていました。

消防大会を俱知安で開催するのは初めてのことで、多くの方のご協力を得て、大変意義深い大会となりました。



▲たくさんの方々が表彰されました。



▲俱知安消防団による活動事例発表。